http://www.kensetsunews.co.jp

佐賀 建設新聞

発行所
建設新聞社
〒849-0301
小城郡牛津町乙柳 1145-7
☎ (0952)66 - 5750(代)
(0120)63 - 5750
Fax(0952)66 - 5751

振替口座 01770-8-89435
購読料 月額 4,725円(税込)
佐賀県内建設業
業界専門紙

中小企業オンリーワンフェア

県内の33社・団体が出展

企業関係者ら1千人が来場

県中小企業団体中央会（福岡福麿会長）は3日、佐賀市文化会館で「佐賀県中小企業オンリーワンフェア」を開いた。独自の技術やサービスをもつ県内の33社・団体が新製品などを一堂に展示、企業関係者ら約1000人が訪れた。環境・情報関係の新技術や時代のニーズに合った新たな商品やサービスなどが紹介され、来場者との交流が盛んに行われた。

フェアは、環境や生活・文化など4分野で独自の優れた新製品を紹介し、取引の拡大を図るのが狙い。県内には多くの優れた技術があるが、PRする場が少ないことから、中小企業団体中央会が初めて開いた。

会場内には、有田焼で作ったスピーカーなどのほか、建設関係では▽日本建設技術㈱（ミラクルソルを活用した屋上緑化工法など）▽㈱協和製作所（逆流防止用自動ゲート設備）▽㈱ワイビーエム（水質改善を目的とした噴流式溶解装置）▽㈱田中鉄工所（立体トラス工法）―などが展示された。

基調講演では、佐賀大学理工学部の新井康平教授が「産学官交流―TLOの概要とその活動事例」をテーマに、国内外の技術移転の状況や佐賀大の取り組みについて説明。出展者プレゼンテーションには5社が参加し、トラックの走行状況をリアルタイムに把握するシステムや、屋上緑化などを紹介した。

中央会関係者は「予想を上回る盛況で、PRの場の大切さを再確認した」と話し、企業連携と新ビジネスのきっかけづくりとして来年以降の開催も模索するという。

建設関係の主な展示内容は次の通り。

【日本建設技術㈱】

・FWG屋上緑化工法―軽量かつ保水機能を併せ持つミラクルソルを用いた「軽量・薄層屋上緑化工法」で、既存建築物にも負荷を与えない緑化システム。

・透保水性舗装工法―ミラクルソルと透保水性インターロッキングを併用した高保水機能を持った工法で、雨水・打ち水効果で温度抑制効果を維持する。

・ミラクルソル水質浄化工法―ミラクルソルの多孔質連続間隙構造を利用し、汚濁の指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）で80%、SS（浮遊物質）で90%の除去が可能。これにより公共水域における汚濁負荷低減に大きく寄与するだけでなく、浄化水を親水公園に利用するなど水資源の有効利用が可能になる工法。

【㈱協和製作所】

・逆流防止用自動ゲート設備―河川管理の安全性、確実性の向上、施設管理機能の高度化を目的として開発、実用化。ゲートの完全自動化により、予測困難な河川増水、災害発生に安全かつ効果的に対応する。

【㈱田中鉄工所】

・立体トラス工法―ボルトだけで鉄骨を組み上げ、曲面などの形状を自在に作り出せる技術。下支えする柱が少なく広い空間が得られることに加え、重なり合う四角錐が美しい幾何学模様をつくり「見せる鉄骨建築」といわれる。この工法の許可を持つのは全国で9社で、九州では同社だけ。

【㈱ワイビーエム】

・水質改善を目的とした噴流式溶解装置―噴流現象を利用して酸素やオゾンを効率よく水に融解し、水の殺菌浄化を行う装置。アオコや悪臭が発生している池でアオコを分解するとともに悪臭発生の原因である貧酸素を解消することにより、きれいな池を取り戻すことができる。農業では、イチゴやトマトなどの成長を早め、糖度を向上させることができる。